

うるおい通信

第68期 報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日



株主のみなさまへ



代表取締役社長
東田 勝

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第68期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の決算並びに事業の概況についてご報告申し上げます。

第68期の業績概況について

当事業年度における住宅・非住宅向けの管工機材業界におきましては、住宅取得優遇制度や住宅ローンの低金利政策が継続的に実施されているものの、持家住宅や個人向けアパートの減少の影響により新設住宅着工数は前年度を下回りました。一方で住宅リフォーム市場は堅調に推移しました。また、企業間の価格競争やサービス競争は激しさを増しており、依然として厳しい状況が続いております。

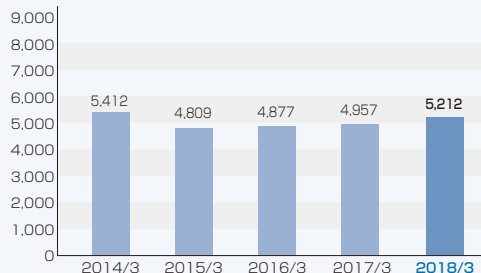
このような状況のもと、当社ではブランド力を大いに発揮し飛躍させるべく、販売力の強化、アイデア商品の開発、ニッチ商品の品揃えの充実などに取り組み、全社をあげて業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当事業年度における売上高は52億1千2百万円（前期比5.1%増）となりました。利益面では、営業利益4億4千2百万円（前期比27.9%増）、経常利益4億6千2百万円（前期比28.3%増）となり、当期純利益は2億5千4百万円（前期比6.0%増）となりました。

◎業種の概況

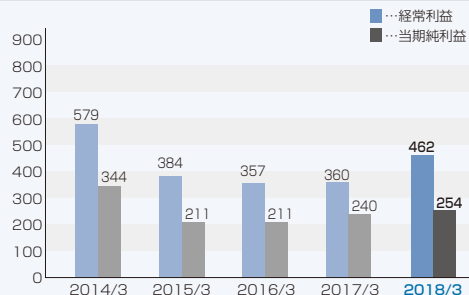
●売上高

（単位：百万円）



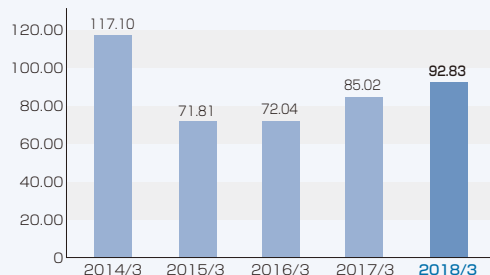
●経常利益・当期純利益

（単位：百万円）



●1株当たり当期純利益

（単位：円）



次期の見通しについて

市場環境としましては、政府による低金利政策の下支えを受け、新設住宅着工戸数やリフォーム市場は2019年10月に予定されている消費税増税前までは堅調に推移するものと予想されます。また、非住宅向けの市場におきましても、日本経済の緩やかな回復にあわせ、堅調に推移することが期待されます。しかしながら、原油・金属材料価格の上昇や運搬費の高騰など先行きが不透明な状況のなか、企業間競争は激しさを増しており厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような見通しのもと、当社は販売力の強化を推進するとともに、ユーザーニーズに応えた新製品やアイデア製品の開発、商品やサービスなどの情報発信力の強化、ニッチ商品の品揃えの充実などに取り組み、全社一丸となって収益の向上に努めてまいります。

次期の業績につきましては、売上高は54億円（前期比3.6%増）、

経常利益4億5千万円（前期比2.8%減）、当期純利益は3億8百万円（前期比21.1%増）を予想しております。

今後の取り組みについて

今後の事業環境の見通しにつきましては、少子高齢化や住宅の長寿命化により新設住宅が減少すると予想されております。しかしながら既存の住宅でリフォーム・リニューアル工事が必要な住宅が多く存在し需要が見込まれると思われれます。このような市場環境のなか当社といたしましては、新築市場向けの製品だけではなくリフォーム市場向けの製品の開発及び取扱いに努めてまいります。

配当の考え方について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策と認識し、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた適正な配当水準の維持向上に努めることを基本方針としております。

また、内部留保金につきましては、財務体質の強化を図りながら、事業拡大のための研究開発費用や設備投資等に役立てる考えであります。

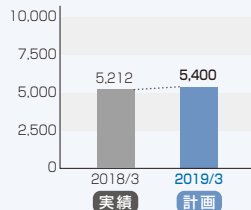
配当につきましては、株主への利益還元策の一環として、中間配当金は1株につき10円を行い、期末配当金は1株につき15円とさせていただきます。

また、次期の年間配当金は、1株につき普通配当25円（中間配当金10円、期末配当金15円）を予定しております。

◎次期の見通し

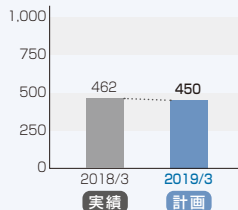
●売上高

(単位:百万円)



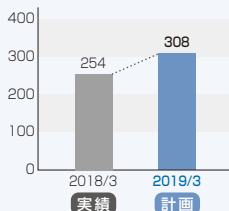
●経常利益

(単位:百万円)



●当期純利益

(単位:百万円)



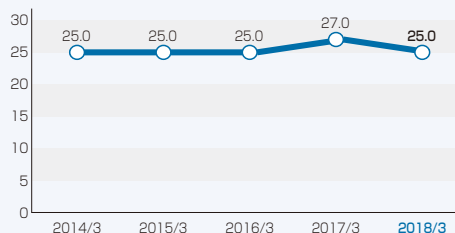
●1株当たり当期純利益

(単位:円)



●1株当たり配当金

(単位:円)



貸借対照表

(単位:千円)

| 科 目 | 当事業年度 (平成30年3月31日現在) | 前事業年度 (平成29年3月31日現在) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 4,373,823 | 3,982,847 |
| 現金及び預金 | 1,631,941 | 1,454,988 |
| 受取手形 | 734,905 | 692,560 |
| 電子記録債権 | 396,431 | 349,982 |
| 売掛金 | 764,779 | 719,584 |
| 商品及び製品 | 786,076 | 696,105 |
| 貯蔵品 | 3,954 | 11,085 |
| 前払費用 | 9,058 | 10,883 |
| 繰延税金資産 | 33,055 | 34,213 |
| その他 | 14,220 | 13,844 |
| 貸倒引当金 | △600 | △400 |
| 固定資産 | 882,927 | 893,099 |
| 有形固定資産 | 333,506 | 399,385 |
| 建物 | 42,666 | 45,992 |
| 構築物 | 467 | 522 |
| 車両運搬具 | 933 | 1,749 |
| 工具、器具及び備品 | 15,540 | 7,826 |
| 土地 | 273,897 | 343,294 |
| 無形固定資産 | 10,562 | 18,352 |
| ソフトウェア | 5,600 | 13,390 |
| 電話加入権 | 4,961 | 4,961 |
| 投資その他の資産 | 538,858 | 475,361 |
| 投資有価証券 | 301,617 | 247,645 |
| 出資金 | 150 | 150 |
| 破産更生債権等 | 109 | 25 |
| 長期前払費用 | 48 | 129 |
| 繰延税金資産 | 35,364 | 30,806 |
| 保険積立金 | 135,231 | 130,330 |
| 敷金及び保証金 | 54,177 | 54,034 |
| その他 | 12,624 | 12,624 |
| 貸倒引当金 | △464 | △383 |
| 資産合計 | 5,256,751 | 4,875,947 |

(単位:千円)

| 科 目 | 当事業年度 (平成30年3月31日現在) | 前事業年度 (平成29年3月31日現在) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 1,479,908 | 1,322,626 |
| 支払手形 | 75,009 | 63,999 |
| 電子記録債務 | 578,267 | 514,833 |
| 買掛金 | 387,344 | 357,528 |
| 短期借入金 | 200,000 | 200,000 |
| 未払金 | 57,651 | 48,884 |
| 未払費用 | 20,938 | 21,302 |
| 未払法人税等 | 109,648 | 63,101 |
| 未払消費税等 | 5,920 | 8,841 |
| 預り金 | 3,127 | 3,135 |
| 賞与引当金 | 42,000 | 41,000 |
| 固定負債 | 90,403 | 85,173 |
| 役員退職慰労引当金 | 84,733 | 79,103 |
| 預り保証金 | 5,670 | 6,070 |
| 負債合計 | 1,570,311 | 1,407,800 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 3,553,709 | 3,373,301 |
| 資本金 | 564,952 | 564,952 |
| 資本剰余金 | 119,774 | 119,774 |
| 利益剰余金 | 4,973,767 | 4,793,359 |
| 自己株式 | △2,104,783 | △2,104,783 |
| 評価・換算差額等 | 132,729 | 94,845 |
| 純資産合計 | 3,686,439 | 3,468,147 |
| 負債純資産合計 | 5,256,751 | 4,875,947 |

損益計算書

(単位:千円)

| 科 目 | 当事業年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日) | 前事業年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日) |
|--------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高 | 5,212,084 | 4,957,474 |
| 売上原価 | 3,586,630 | 3,406,654 |
| 売上総利益 | 1,625,453 | 1,550,819 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,182,680 | 1,204,609 |
| 営業利益 | 442,772 | 346,210 |
| 営業外収益 | 41,696 | 34,818 |
| 営業外費用 | 21,760 | 20,422 |
| 経常利益 | 462,708 | 360,606 |
| 特別損失 | 69,396 | 4,074 |
| 税引前当期純利益 | 393,311 | 356,531 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 159,000 | 116,000 |
| 法人税等調整額 | △20,088 | 428 |
| 当期純利益 | 254,399 | 240,103 |

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| 科 目 | 当事業年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日) | 前事業年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日) |
|-------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 266,686 | 228,825 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △15,718 | △11,210 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △74,014 | △210,042 |
| 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少) | 176,953 | 7,573 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 1,454,988 | 1,447,415 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 1,631,941 | 1,454,988 |

株主資本等変動計算書 当事業年度(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

(単位:千円)

| | 株 主 資 本 | | | | | | | | | | 評価・換算差額等 | | 純資産 合計 |
|----------------------------------|---------|---------|--------------|-------------|--------|---------------------------|-------------|-----------|-------------|-----------------------|----------------|---------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | | 自己株式 | 株 主 資本合計 | その 他 有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| | | 資本準備金 | その他 資本剰余金 | 資本剰余金 合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 別途積立金・繰越利益剰余金 | 利益剰余金 合計 | | | | | | |
| 平成29年4月1日期首残高 | 564,952 | 118,386 | 1,388 | 119,774 | 68,339 | 2,100,000 | 2,625,019 | 4,793,359 | △2,104,783 | 3,373,301 | 94,845 | 94,845 | 3,468,147 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △73,991 | △73,991 | | △73,991 | | | △73,991 |
| 当期純利益 | | | | | | | 254,399 | 254,399 | | 254,399 | | | 254,399 |
| 株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純 額) | | | | | | | | | | | 37,883 | 37,883 | 37,883 |
| 事業年度中の変動額合計 | - | - | - | - | - | - | 180,408 | 180,408 | - | 180,408 | 37,883 | 37,883 | 218,291 |
| 平成30年3月31日期末残高 | 564,952 | 118,386 | 1,388 | 119,774 | 68,339 | 2,100,000 | 2,805,428 | 4,973,767 | △2,104,783 | 3,553,709 | 132,729 | 132,729 | 3,686,439 |

新製品

MB44DW 洗濯機排水トラップ リン

用途 ■ 品確法維持管理等級3に対応した、洗濯機排水トラップ



効果 塩ビ管との主要結合部を床上から目視確認でき、設置後も漏水確認が可能となりました。リフォーム時にクッションフロア入替の作業効率が上がリ、余分な点検口も不要となるなどツバが分離する特長によって様々な効果を得ることができます。

S2TLP フレキ用座付エルボ

用途 ■ トイレのリフォーム時の給水位置変更に使用

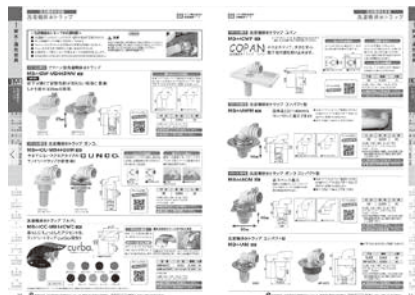


効果 壁面との距離を抑えて配管することができ、給水タンクとの干渉が軽減します。給水管が不要なことから接続箇所を減らすことができ、漏水のリスクも低減します。

トピックス

総合カタログ Vol.61 今夏発刊予定

2018-2019年版 新総合カタログを発刊いたします。
他の企業にはないボリュームで利用者の方々に、ご提供しております。



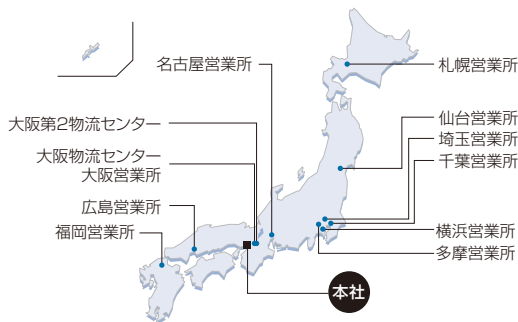
会社の概要 (平成30年3月31日現在)

商号 ミヤコ株式会社
 所在地 大阪市北区天満1丁目6番7号
 設立 1951年1月
 資本金 5億6,495万円
 代表者 東田 勝
 事業所 全国13拠点
 取引銀行 三井住友銀行・三菱東京UFJ銀行
 三井住友信託銀行・百十四銀行
 事業内容 住宅の水まわりパーツの開発・設計・販売

役員 (平成30年6月28日現在)

代表取締役社長 東田 勝
 取締役 石原 利幸
 取締役 堀川 富士夫
 社外取締役 菊山 勝久
 常勤監査役 多谷 本昌利
 社外監査役 木下 威英博
 社外監査役 田野 瀬博

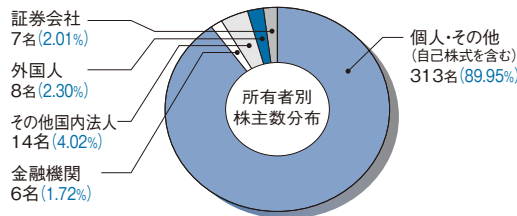
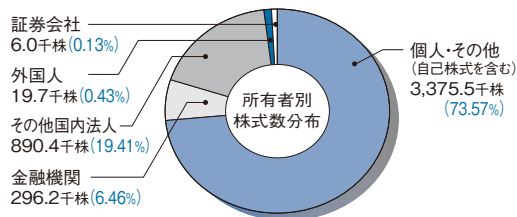
主な事業所・ネットワーク (平成30年3月31日現在)



株式数及び株主数 (平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数 13,900,000株
 発行済株式総数 4,587,836株
 株主数 348名

株式分布状況 (平成30年3月31日現在)



住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

マイナンバーお届出に関するお問合せ先のご案内

株式の税務関係の手続き(税務署への配当金に関する支払調書の提出など)において、株主さまのマイナンバーが必要になりますので、お取引のある証券会社などへお問い合わせください。

事業理念

潤いの創造

私たち人間は、水の「潤い」の恩恵によりこの世に生を受け生きています。ミヤコは、水との関わりが極めて深い事業に携わる立場から、水がもたらす「潤い」という考え方を重視し、「共存共栄」「共生の精神」を行動原理とし、人を育て、製品やシステムを開発し、その価値を広く社会にお届けしていくことを使命と考えています。

株主メモ

| | |
|----------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 6月中に開催 |
| 株主確定基準日 | (1) 定時株主総会、期末配当金 3月31日 (2) 中間配当金 9月30日 (3) その他必要のある時はあらかじめ公告して定めた日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 会計監査人 | ひびき監査法人 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| お問合せ先 | フリーダイヤル 0120-782-031 ホームページアドレス http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html |
| 公告方法 | 電子公告の方法により下記のミヤコホームページに掲載します。 但し、やむを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞に掲載します。 ホームページアドレス http://www.miyako-inc.jp/ir/index.htm |
| 上場市場 | 東京証券取引所JASDAQ |
| 証券コード | 3424 |

MIYAKO

ミヤコ株式会社

お問い合わせは、下記までご連絡ください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目6番7号 ミヤコ株式会社 管理部総務課
TEL 06-6352-6931 FAX 06-6354-0031 URL <http://www.miyako-inc.jp>